

講習科目名	【選択必修】小学校外国語教育実践	実施期日	8月17日(火)
時間数	6時間	講習形態	講義・演習
主な受講対象者	小学校教諭・中学校英語科教諭	受入人数	30人
担当教員	清水遥(文学部准教授):1時限目・5時限目担当 遠藤恵利子講師(東北学院大学非常勤講師):2~4時限目担当		
講習の到達目標 (成績評価の観点)	① 講義・演習内容に基づき、小学校における外国語活動・外国語科のねらいを明確に論ずることができる。 ② 講義・演習内容に基づき、効果的な外国語活動・外国語科の指導計画を立てることができる。		
講習の概要	小学校外国語活動・外国語科のねらいを踏まえて、「コミュニケーションの素地・基礎」をどう捉えて実践すればいいのか、現場での授業の実際から考える。主な講義のポイントは、コミュニケーションとめざす児童像、授業作りの5つの視点、単元構成の工夫、教材の工夫と効果的な活用、小中連携の工夫、評価の工夫、教科化を前に大事なこと等。実際の教材を使ってアクティビティを行うなど、理論と実践を繋げながら体験的に学ぶ。本講習は、清水遥文学部准教授と遠藤恵利子非常勤講師(元仙台市立向山小学校教諭)が担当する。		
講習計画	1時限目:小学校英語教育の動向及び児童期のSLA(講義)(60分) 2時間目:小学校英語教育実践(1)講義およびワークショップ(80分) 小学校学校外国語活動・外国語科の5領域の目標と内容 めざす児童像 授業作りの視点と授業のチェックポイント 3時間目:小学校英語教育実践(2)ワークショップ(80分) 単元構成と終末モデルの工夫 言語習得と「目的・場面・状況」の設定 教科書教材および自主教材の工夫と効果的な活用 文字指導の工夫 4時間目:小学校英語教育実践(3)ワークショップ(80分) 評価 特別支援教育と外国語 小中連携 5時限目:まとめ及び試験(60分)		
評価方法	筆記試験		
教材・参考文献	特になし。配付資料を用いる。		
受講者に望むこと	模擬授業を行うので、動きやすい服装で参加していただきたい。		
備考			